

1. 単元 (題材) 名「修学旅行に行こう」

2. 単元 (題材) の目標

- ・修学旅行に向けて、自分の期待することややりたいことを見つけ主体的に取り組む。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・旅行に必要な荷物を考えたり、滞在先でやるべきことを考えたりする。(思考力・判断力・表現力等)
- ・ホテルや駅等公共の場での振る舞い方を知る。(知識・技能)

3. 基盤

＜児童生徒観＞ 児童生徒の実態について 〈略〉

＜教材観＞ 教材・指導内容について

児童達の旅行経験の違いはあるものの、この修学旅行に向けての学習は、旅行に向けて準備すべき事柄から、自身の身近処理まで幅広い事柄を題材として設定でき、児童の実態差に対応した学習内容を設定できる。また旅行に行くという非日常の特別感により児童の興味関心、意欲をいつも以上に引き出せると考える。本単元の内容は買い物や公共の場でのマナー等既習の学習も多く、それらのできた経験、知っていることを活かした新たな事柄を設定できる題材でもある。また他の教科等との関連として、算数で金銭の学習を行っている児童や時計の読み方を学習している児童、国語で平仮名や漢字を読んだり書いたりすることを学習している児童等があり、それぞれの教科等で学んだことの深化が図れる。さらにこの修学旅行に向けての学習全般を通じて選択する場面、考える場면을数多く設定でき自立への足がかりとなる自分で意思決定することの大切さに気付くきっかけにもなる題材である。

＜指導観＞ 指導方法の工夫 (支援の工夫)

主体的な姿を引き出すために・単元全般を通じて教師からの一方的な日程の説明やマナーの説明に終始しないように児童が考えたり、選択したり操作したりして主体的体験的に学習に取り組めるようにしたい。また他者の考えを知ったり一緒に何かを成し遂げたりする経験を積めるように適宜集団編成を工夫する。さらに、食事のマナーや切符購入の学習では実際場面を想定しロールプレイを取り入れ体験的に学べるようにする。買い物や必要な荷物の学習では児童に応じて考えたり選んだりする時間をとり入れ主体的な姿を引き出す。ただし、買い物学習では細かな金額の計算は行わず、児童の『欲しい・買いたい』という気持ちを実物や写真等を使って呼び起こすことを大切にしたい。**振り返りの工夫・**事後学習では、各教科等で学んでいる成果も踏まえそれぞれの児童が自分に見合った表現方法(文字、写真、絵)等で成果を発表するとともに本単元で学んできたことを実際の修学旅行場面で活かせたか、二者択一のクイズ形式等で振り返り、知識の定着を図る。

終わりに、本単元の学習で友達と一緒に活動する良さに気付いたり旅行に対する期待感を抱いたりし、将来の学校生活や社会生活で経験する「旅行」を有意義なものにする資質を養ってほしいと願っている。

4. 指導計画

全20時間	学習活動	ねらい(学習集団のもの)
第1次2時間 9/27 「修学旅行に行こう」	単元名や日程、行き先について知る。	修学旅行の大まかな日程、行き先を知る。
第3次2時間 9/28 「自分のすることを考えよう」	行き先での活動内容を知り自分のする事について考える。 (ホテルでのバイキング、風呂等)	行き先の詳細、そこでの活動内容を考える。 行き先での活動内容をもとに、自分のすることを考える。
第3次2時間 9/29 「マナーを知ろう」	公共の場での過ごし方や切符の買い方について知る。	公共の場での振る舞い方を考える。 電車の切符の買い方を知る。
第4次3時間 10/2 「しおりを作ろう」	どんな荷物が必要か考え、しおりを作る。	必要な荷物を考える。しおりを作成する。
第5次2時間 10/4 「何食べよう？」	2日間にわたって食べる昼食を選ぶ。	自分の食べたい物を選び、友達の前で発表する。
第6次2時間(本時) 「お土産を買おう」	複数のお土産の中から気に入った物を探し出しお土産表を作る。	複数の選択肢の中から買いたい物を選ぶ。 お土産表(仮)をグループで完成させる。 お土産表について発表する。
第7次1時間 「お土産を決めよう」	お土産表をもとに行き先で購入したい物を決める。	行き先ごとに購入したい物を決める。
第7次4時間 10/6. 11 「役割を果たそう」	出発式・解散式について役割を分担し練習に取り組む。	式の内容を考え役割を果たす。
第8次2時間 10/18 「修学旅行の思い出」	修学旅行を思い出し、文章や絵、写真等で表現する。	旅行に向けて学んだことを知識として身に付け印象に残ったことを選び表現する。

5. 本時の学習

(1) 目標(知は知識・技能、思は思考力・判断力・表現力等、主は主体的に学習に取り組む態度)

- ・行き先ごとのお土産品を知り、自分や家族に購入したい物を考え決めることができる。(知・主)
- ・グループの友達と一緒に土産表を完成させる。(知・思)
- ・グループに分かれて制作した土産表について、言葉や動作等で発表する。(思)

(2) 児童の実態

児童名	本単元に関する実態	ねらい	他の教科等との関連
	〈 略 〉		

(3) 展開(別紙)

(4) 本時の評価

- (児童)・提示されたお土産品等に興味を示し購入したい物を選んだか。
- ・選んだお土産を切ったり貼ったりしてお土産表を作成したか。
 - ・自分の発表方法を理解しグループ内での役割を果たしたか。

(教師)・上記のねらいの設定及びそれらを達成するための手立ては適切であったか。

(別紙)展開

時間	学習活動	MTの支援(●)	児童の活動と指導の手立て(STO)						準備物等	
			A	B	C	D	E	F		
10:40	1あいさつをする。 2本時の活動を確認する。 3修学旅行の歌を歌う。	●姿勢を整えるように言葉かけし必要に応じて手本を示す。 ●予定表を用意し前時までの確認と本時の内容が理解できるようにする。また必要に応じて児童の目の前に予定表を提示し本時の内容を意識できるようにする。 ●みんなで気持ちを高めていくために教師も大きな声で歌う。	○必要に応じて足や顔の向きをただすように伝える。 ○本時の活動内容をつかめるように、予定表を注視するように言葉かけをする。 ○一緒に声を出せるようにそばで歌うようにする。			○挨拶に意識を向けられるようにMTを指差ししたり体の向きを整えるのを補助する。 ○必要に応じて予定表のそばへ導き本時の確認ができるようにする。 ○歌の雰囲気を感じ取れるように一緒に手拍子をしたり手をつないだりする。		○必要に応じて足や顔の向きをただすように伝える。 ○本時の予定について見通しをもてるように、そばで再確認する。 ○声を出すことを意識できるように時折そばで歌う。		●単元の予定表 ●歌詞カード 他
10:45	4お土産はどのようなものか考える。	●修学旅行先のお土産を児童やSTに手渡したり、MT自身も購入して嬉しかったという気持ちを表現することで、買って嬉しいもって嬉しい物であるということに少しでも気付けるようにする。 ●前時までに作成したお土産表を提示しイメージを持てるようにする。 ●みんなで作る意識を持てるようにグループ内の友達と一緒にお土産表を完成させることを伝える。	○気持ちを表現できるように手掛かりとなる言葉を短く伝える。 ○お土産を手渡されてどんな気持ちか聞くことでお土産について考えられるようにする。	○お土産を手渡されてどんな気持ちか聞くことでお土産について考えられるようにする。 ○気持ちを表現できるように手掛かりとなる言葉を短く伝える。	○歌の雰囲気を感じ取れるように一緒に手拍子をしたり手をつないだりする。 ○お土産を手にしたら、共感する言葉かけをする。	○お土産を手渡されてどんな気持ちか聞くことでお土産について考えられるようにする。 ○お土産を手渡されてどんな気持ちか聞くことでお土産について考えられるようにする。	○大きな声で歌えるように事前に声を出すことを確認しておく。 ○お土産を手渡されてどんな気持ちか聞くことでお土産について考えられるようにする。	●お土産6個 ●お土産表2つ		
10:55	5購入したい物を選びお土産表を完成させる。 (お土産表作りの説明で選ぶこと、作るとは同時に説明します。)	●自分で家族に買いたいものを選ぶことを伝え誰のために購入するのかがつかめるようにする。	○見通しを持って進められるようにグループの友達と作成するお土産表を確認する。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように、誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。	○自分以外には誰に買うか確認し、考えながら選べるようにする。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。金額や個数がオーバーしそうな時には買えないこと少し減らすこと等その場で提案する。	○見通しを持って進められるようにグループの友達と作成するお土産表を確認する。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。金額や個数がオーバーしそうな時には買えないこと少し減らすこと等その場で提案する。 ○自分で意思決定できるように写真や具体物は目の前で2択できるようにする。	○見通しを持って進められるようにグループの友達と作成するお土産表を確認する。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように、誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように、誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。	○見通しを持って進められるようにグループの友達と一緒に作ることを確認する。 ○お土産を選ぶ手掛かりとなるように、誰に何を購入するのかを整理する買う人リストを用意する。		●行き先の写真 ●児童の顔写真 ●買う人表	
11:20	休憩をする。	●休憩前に発表に見通しを持てるように発表時の約束を伝えておく。	○発表の約束カードを見るように伝え、要点をつかめるようにする。 ○発表に見通しをもてるように約束カードを見たりMTの話を聞くように言葉かけをする。	○発表に見通しをもてるように約束カードを見たりMTの話を聞くように言葉かけをする。 ○発表の約束カードを見るように伝え、要点をつかめるようにする。	○発表の約束カードを見るように伝え、要点をつかめるようにする。 ○具体物を渡し、買うものを発表することを姿勢・動作で確認する。	○発表に見通しをもてるように約束カードを見たりMTの話を聞くように言葉かけをする。 ○発表に見通しをもてるように約束カードを見たりMTの話を聞くように言葉かけをする。	○発表の約束カードを見るように伝え、要点をつかめるようにする。 ○発表の約束カードを見るように伝え、要点をつかめるようにする。	●発表の約束カード		
11:25	6発表練習をする。	●買う人と、何をかうのかを発表することを伝える。	○発表内容に見通しを持って買う人表を見ながら、誰に、何をかうのか抑えながら練習する。 ○興味をもって臨めるように写真や実物を見て発表するように伝え、方法を動作で伝える。	○発表内容に見通しを持って買う人表を見ながら、誰に、何をかうのか抑えながら練習する。 ○発表内容に見通しを持って買う人表を見ながら、誰に、何をかうのか抑えながら練習する。	○本児の順番には動作ですることが分かるように伝える。 ○本児の発表には動作ですることが分かるように伝える。	○発表に見通しをもてるように誰に何をかうのか確認しながら行う。 ○発表に見通しをもてるように誰に何をかうのか確認しながら行う。	○発表の際の事柄を口頭で繰り返し確認する。 ○発表の際の事柄を口頭で繰り返し確認する。			
11:35	7発表する。	●事前に、聞く態度を伝え友達の発表を聞けるようにする。また買う人表を見て発表することを伝える。	○買う人表を見て言うように伝える。 ○聞く時は相手を見て、静かにすることを伝える。発表中は適宜指差しや小さい声で発表者に意識を向けられるようにする。	○買う人表を見て言うように伝える。 ○発表の方法をつかめるように具体物を持つように伝え、教師が発表の補助をする。	○発表の方法をつかめるように具体物を持つように伝え、教師が発表の補助をする。 ○発表の方法をつかめるように具体物を持つように伝え、教師が発表の補助をする。	○発表に見通しをもてるように誰に何をかうのか確認しながら行う。 ○発表に見通しをもてるように誰に何をかうのか確認しながら行う。	○発表の際の事柄を口頭で繰り返し確認する。 ○発表の際の事柄を口頭で繰り返し確認する。	お土産表 買う人表		
11:40	8まとめの話を聞く。	●お土産表を見ることで本時の成果を確認できるようにする。作った感想を数名の児童に聞き、次時へ期待感の持てる話をする。	○自分の発表した以外のグループのお土産表に注目できる言葉かけや指差しをする。 ○本時の成果を振り返られるようにお土産表作りの感想を聞くようにする。	○本時の成果を振り返られるようにお土産表作りの感想を聞くようにする。 ○本時の成果を振り返られるようにお土産表作りの感想を聞くようにする。	○感想を言えるように質問は易しいものにする。 ○感想を言えるように質問は易しいものにする。	○感想を言えるように質問は易しいものにする。 ○感想を言えるように質問は易しいものにする。	○感想を言えるように質問は易しいものにする。 ○感想を言えるように質問は易しいものにする。			
11:45	9あいさつをする。	●始まりのあいさつと同じ。	○始まりのあいさつと同じ							